

PART3



実演製品

NAJIMI #2500

NAJIMI #4000

POLI Lab 研磨用

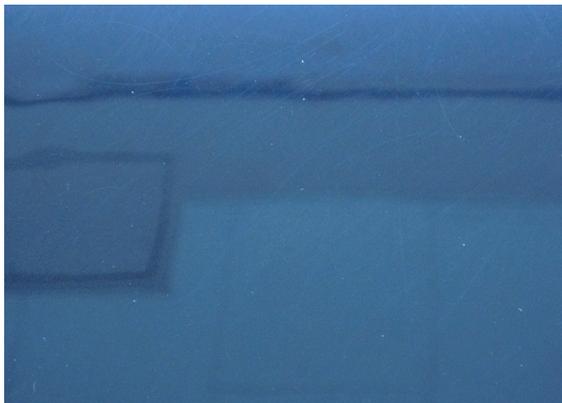
POLI Lab 仕上用



実演動画公開中

昨年発売された2製品を使った磨き作業を実演。
柔軟性と耐久性に優れた「NAJIMI (ナジミ)」で肌調整を行い、
2工程で仕上げるコンパウンド「POLI Lab (ポリラボ)」で磨く。

濃色車ボンネットの磨き作業



01

トヨタ202(ブラック)のボンネットを用意。表面には洗車傷を再現

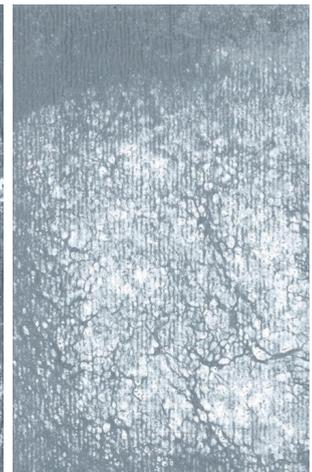
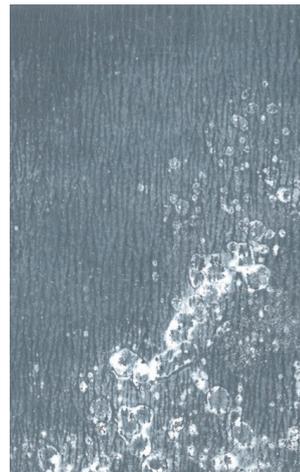


02

非吸塵式ダブルアクションサンダーにNAJIMI #2500を組み合わせ、塗膜全体の肌調整を行う。その後は#4000に切り替えて全体をより平滑にしていく

NAJIMI

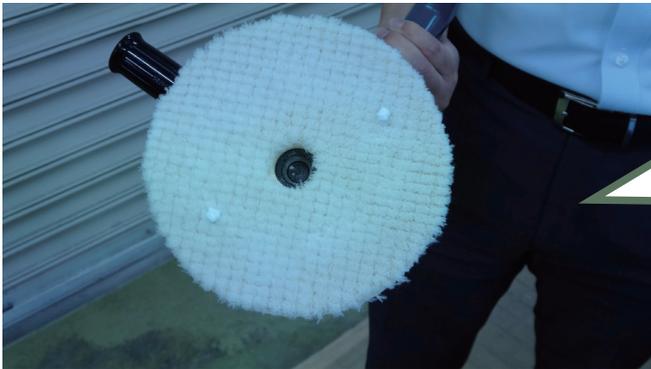
従来品



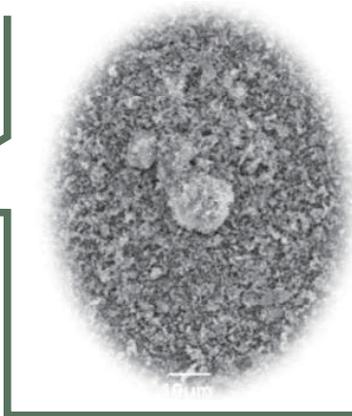
Point



研磨粉の付着を防ぐ新製法を採用したことで、従来品よりも目詰まりしにくく耐久性も向上した。この改良により、ペーパーで肌をある程度均一に整えた上で、ポリッシングは2工程で仕上げる方法が可能になった



03 ウールパフにPOLI Lab 研磨用を少量付ける



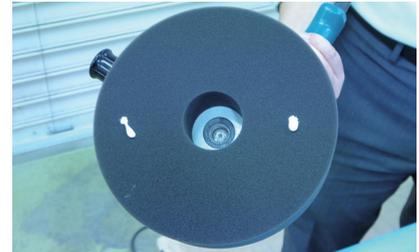
一般的な細目コンパウンドよりも粒子が細かく、粒子径が均一であることが特徴。少量でもよく磨ける上に傷が入りにくい



04 シングルアクションポリッシャー（パッド径148mm）を使って#4000のペーパー目を消す。回転数は終始低速（1,000rpm以下）に設定し、パフを押し付け過ぎないようにして当てる



砥粒自体に研削性があるため、切れ過ぎないように磨くのを意識する。まずはペーパー目を消し、その後周辺にコンパウンドを塗り広げるようにして磨いていく



05 スポンジパフに切り替え、POLI Lab 仕上用を少量付ける



06 シングルアクションポリッシャーで仕上げ磨き。磨き方は前工程と基本的に同じ



ポリッシャーの運行は8～10cm/秒を目安にすると良い



Finish

#4000のペーパー傷、前工程の磨き跡が消えて光沢が出ている

創業90年の研磨ノウハウを結集させた自信作

POLI Lab システムの最大の特徴は、磨きに関する一連の工程を当社の製品でトータルサポートできること、ユーザー自身が自由に工程をカスタマイズ可能なことである。

NAJIMI（#280～4000 計11粒度）は、長時間研削力が持続するため、コストパフォーマンスが高い。#4000を活用することで時間短縮につながる。また、研磨粉の付

着を防ぐ新製法を採用し、目詰まり防止剤の耐久性が大幅に向上している。

POLI Labは細目2種類を有し、研磨スピードを重視した設計。パフへの絡みが良く、短時間で効率よい研磨ができる。また、ノンシリコン・ノンワックスかつ軟化剤・被膜形成剤などが無添加なことに加え、低粉塵（粉塵が飛散しにくい）、低臭

気、拭き取り性良好と、環境に配慮した設計である。

自動車補修業界は今、大きな変革期を迎えている。創業から90年を迎えた当社が持つ研磨のノウハウを活かした製品の供給で、ボデーショップの品質及び生産性の向上に貢献していくことが使命だと考えている。

問い合わせ先

三共理化学

TEL 048-615-0165
FAX 048-786-2935